

# 取組事例 泊村の地域資源を最大限活用した事業の創出(拡大、向上等)

(泊村)

泊村では、水産業を活かし安心して働ける場をつくることを目指し、安着性・安定性の高いホタテ養殖事業及びナマコの増養殖事業などつくり育てる漁業に注力し、漁業の多角化を推進している。

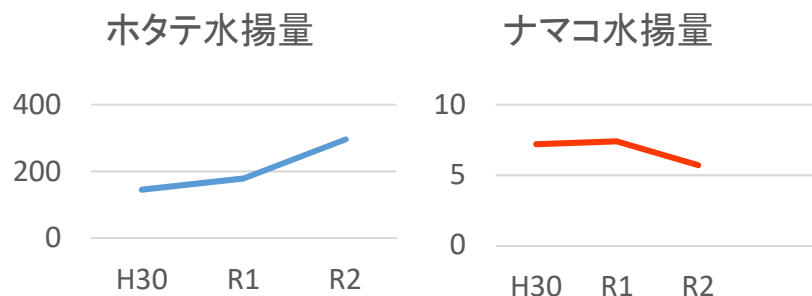
## 関連数値目標・KPI

	基準値 (R2)	実績 (R3)	目標値 (R7)	進捗率 (%)
ホタテの水揚量	296(t)	304(t)	1,500(t)	20%
ナマコの水揚量	5.7(t)	4.9(t)	35(t)	14%
新規漁業就業者数		3(人)	3(人)	100%
地域特産品の開発 件数		1(品)	2(品)	50%

## 取組の推進体制

好漁不漁の変動が大きい漁船漁業に依存する既存の漁業の他、安着性・安定性の高いホタテ養殖漁業及びナマコの増養殖漁業への取り組みを効果的に推進する為、泊村から漁業組合へ事業への補助金を交付し、支援の体制を整備している。

## ホタテ、ナマコ水揚量推移



安定的な養殖により、水揚量の減少を抑制することができる。

## 取組事例

### ホタテ養殖事業

○主な取組  
ホッケ、ブリ、スケトウダラなどの回遊性資源等、不安定な資源に依存しない生産体制の構築の為、ホタテ養殖部会を設立し、現在、海外向け輸出が好調な2年貝を生産。  
また、地域特産品の開発に取組み、地場産業の創出を目指している。

○主な成果  
養殖事業開始 (H27) の水揚量 28 t と比べ、R2は水揚量が296 t まで増加。  
R3には特産品として飯寿司を開発。新規漁業就業者数が3人増加し、数値目標を達成している。

